

創立120年藩校の流れくむ伝統校

成章高校同窓会ホームページ立ち上げ

江戸時代後期の藩校の流れくむ田原市の成章高校の同窓会「成章会」(石黒功会長)がホームページ(HP)を立ち上げ、運用を始めた。今年は、創立120年を迎え、全国の地区同窓会とつなぎ、「学校の活動などを知らせ、同窓生と活発な交流を進めていきたい」としている。

地区の同窓会との連携緊密に

校の変遷をたどり、一48年に県成章中から

学制改革で現在の高校となり、これまでに約2万5000人が卒業している。藩校の成章館は1810(文化7)年、運用を始めた成章高校同窓会「成章会」のホームページ

HPは、「表紙」に成章会の入会式や高校の卒業式などの学校行事を伝え、校名の由来となる「斐然成章」(びぜんせいしやう)を掲げる。中国の論語から引用し、「後進の育成」を意味する「成章」を載せている。

石黒会長や成章高の木藤政美校長(当時)のあいさつ、同窓会の役員、会則、沿革のほか、関東成章会のホームページへのアクセスのQRコード

成章高の前身は、1901(明治34)年に再興した成章館。以来、数々の学



三河田原藩の三宅康和藩主によって創設された。藩家老で文人画家の渡辺崋山は、藩政再建の際、大きな期待をかけたという。創立120周年を迎え、石黒会長は「今月から記念事業を展開していく」と話した。